

新潟市教育委員会 令和元年7月 定例会会議録

日時	令和元年7月26日(金) 午後2時			
場所	新潟市役所 本館 6階 講堂			
教育長	前田 秀子		/	
出席委員 (8名)	佐藤 久栄		出席委員	小野沢 裕子
	上田 晋三			市嶋 洋介
	田中 賢一			渡邊 純子
	渡邊 節子		欠席委員	/
	山倉 茂美			/
会議出席 教育委員会 事務局職員 (20名)	職・氏名		職・氏名	
	教育次長	高居 和夫	学校支援課長	齋藤 純一
	教育次長	古俣 泰規	生涯学習 センター所長	枝並 素子
	教育総務課長	渡邊 剛	中央公民館長	浅間 直美
	学務課長	高橋 光久	中央図書館長	吉田 英津子
	施設課長	高橋 裕幸	教育総務課 課長補佐	佐藤 夏樹
	保健給食課長	東 理 守	教育総務課係長	桑原 勝俊
	地域教育推進 課長	緒 方 猛	教育総務課主査	山 口 学
	学校人事課長	池 田 浩		
	教育職員課長	浅間 孝之		
総合教育 センター所長	小川 裕一			
他部署 出席者(0名)				

開会	時 刻	午後2時
	宣 言 者	教育長
付議事件 (4件)	議案番号	件 名
	議案第 11 号	2020 年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について
	議案第 12 号	2020 年度使用新潟市立中学校用教科用図書(道徳以外)の採択について
	議案第 13 号	2020 年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書(道徳以外)の採択について
	議案第 14 号	2020 年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用図書(一般図書)の採択について
報告 (2件)	通学区域の見直しについて	
	潟東地域実行計画に係るかたひがし生活体験館について	
協議会 (1件)	教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価(案)について	

第1 開会宣言

○教育長

午後2時 開会を宣言する。

これより、7月の教育委員会定例会を開催いたします。

現在のところ、報道関係者からの申し出はありませんが、会議中に委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありましたら、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。

では、許可することで決定します。

会議録署名委員の指名

○教育長

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に田中委員及び渡邊節子委員を指名します。

第2 報告案件

○教育長

はじめに、議案第11号、2020年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について、学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

では、議案第11号、2020年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について、説明いたします。

別冊の1ページをご覧ください。答申の中にありますように、2020年度使用の小学校教科用図書については、5月の教育委員会の諮問を受けて、調査員の調査研究をもとにした教科用図書審議委員会で審議し、答申されました。記のア①、②、③の観点に基づき慎重に審議した結果、別冊4ページから別冊76ページまでに教科ごとに記載してある教科用図書が答申されました。

次に、小学校で使用する教科用図書について、補足説明いたします。教科用図書採択については、学校教育法附則第9条の規定により、小学校用教科書目録に登録されている教科用図書の内から採択することとなっております。

答申までの経緯ですが、諮問の観点により、専門調査員の調査研究を審議していただきました。その際、県の教科用図書研究資料を参酌し、併せて新潟市立総合教育センターと、ほんぽーとに設置された新潟教科書センターの閲覧者から寄せられた意見等も参考にいただきながら、教科用図書審議委員会から答申をいただきました。

今回の教科書採択にかかわる専門調査員の研究経過ですが、別冊の3ページにお戻りください。令和元年6月12日に第1回調査員打ち合わせ会を開催し、その場で教科用図書採択の基本方針、諮問内容等を確認し、その後、小学校教科部会ごとに複数回の調査研究会を開催し、報告書にまとめました。小学校部会の研究の観点は、2の(1)、(2)に示したとおりです。

以上が、答申までの経緯、専門調査員の研究経過の報告になります。一旦、ここまでで、ご審議をよろしく願いいたします。

○教育長

ただいま説明いただきましたように、2020年度から小学校で使用する

教科用図書については、小学校用教科書目録に登録されている教科書の中から、現在の新潟市の教育課題と子どもたちの実態を基に、より適した教科書を採択することになります。審議委員会からは、専門的な見地から慎重に協議・検討した結果として、答申をいただきました。

ここまでについて、何かご質問などはございますか。

ないようですので、学校支援課から、教科ごとに説明をお願いします。

○学校支援課長

教育委員の皆様には、これまで、全教科すべての教科書及び答申された専門調査員研究報告書について目を通し、内容を把握していただいております。本日は、時間も限られておりますので、第2回審議委員会で新潟市の子どもたちに適しているものとして推薦された教科書発行者名の名前のみお伝えします。発行者番号順で、発行者名については略称を用います。

それでは、別冊4ページ、国語をお開きください。新潟市の児童に適するものとして、2東書、17 教出、38 光村の3種が推薦されました。現在使われているものは、2東書です。ご審議をお願いいたします。

○教育長

それでは、ご質問、ご意見がありましたら挙手をお願いします。

○市嶋委員

ご意見申し上げます。一通り拝見させていただきました。見やすさの視点から一つ意見させていただきますと、光村図書の教科書は非常にデザインやフォント、フォントのサイズ、また用紙の色などが学年に合わせて非常に工夫されているなという印象がありました。また、シンプルで、必要な情報がきちんと見やすく載っているということで、非常に見やすくなっていると思います。

○小野沢委員

国語の教科書を読み始めると、どんどん読み込んでいきたくなるようないい文章が、どの教科書にもありました。

その中で、教育出版の教科書で6年生の上なのですが、新潟県の作家、杉みき子さんの文章で、あの坂を上れば海が見える、あの山を越えれば何かがあるという期待を込めて読み込める文章がありました。新潟県の作家の文章が載っているという点で、教育出版もいいのではないかと思います。

○田中委員

手元に光村の4年生の上があるのですがけれども、4年生ですと「白いぼうし」という文章があり、ずっと昔から使われているとても素晴らしい物語です。実は、光村は各学年の最初に物語文が出てきた後に、図書館の専用のページがあるのです。例えば、この4年生ですと「図書館の達人になろう」というページがあります。図書館探検とか図書館探偵団といった形で、どの学年にも図書館指導のページが設けられています。子どもたちが自分の好きな本を図書館に行って探してみるとか、あるいは調べ学習を行うなど、図書館活用について、非常にうまく工夫されていると考えて、光村がとてもいいと思いました。

○山倉委員

私も田中委員と同じく光村がいいなと思いました。QRコードがついて、それを使うと教材に関連した動画が見られるということで、とても分

かりやすくいいと思いました。

○佐藤委員

国語というと、書くことの習慣づけも教科の大きな役割だと思います。現在使っている東書は「国語のノートの作り方」ということで、理想的なノートの取り方を示されています。私はこれを見て心配だったのが、事細かに親切すぎるのではないかと疑問を抱いています。そういう観点で見えていったときに、光村はとにかく記録を取ることを推奨していて、記録の取り方であるとか、ノートについてもほんの一部、このように取ったらいいという例で丁寧におさえてあるのです。新潟市は来年度から第4次教育ビジョンがスタートするわけですけれども、現状の教育ビジョンの中に、これからの社会をたくましく生き抜く力の育成ということが書かれています。どのようなときでも自分の力で考えて行動する力というものがあるに含まれていると思うのですが、子どもたちが創意工夫する部分を残したほうがいいのではないかと思いますので、そういう観点で考えると、光村がいいのではないかと思います。

○小野沢委員

先ほど、教育出版の杉みき子さんの作品があつていいという話をしたのですけれども、確かに、光村図書の国語の教科書を読むと、友だちに話すように自分の考えをまとめてみましょうという問いかけがあります。友だちに話すようにまとめるという点はとても良いと思います。

○教育長

これまで、光村を推薦する声が多く上がっておりますけれども、ほかにありませんか。

ないようでしたら、国語については 38 光村を採択するというのでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、国語につきましては、38 光村を採択します。

続いて、書写についてお願いします。

○学校支援課長

書写については、11 学図、17 教出、116 日文の3種が推薦されています。現在は、11 学図を使っております。ご審議をお願いします。

○教育長

それでは、ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。

○小野沢委員

書写の教科書を見ていて、学校図書のものなのですけれども、中に都道府県をきちんと書きましょうという「書写の資料館」というところがあるのです。それがとても充実しています。特に、6年生で 47 都道府県をきちんと書きましょうというのは、新潟の子どもたちも意外に「潟」の文字が書けなかったり、全国で新潟県が一番書きにくいと言われたりしている中で、書写の時間に全国の都道府県をきちんと書くことを学べるのはとてもいいなと思いました。

○上田委員

今ではすっかり筆を使うということから離れた生活を送ってしまっていて、自分が習うつもりでどの教科書がいいかと思って、興味を持ちながら、筆づかいについて確認していました。どの出版社の出された教科書もていねいに説明されていて、これであれば子どもが理解できる内容だと思いました。

- 渡邊純子委員 学図は、各学年とも年間を通して直接書き込んで練習できるページがあつて、とても使いやすく小学生に適していると感じました。
- 教育長 どの教科書もいいけれども学図のほかにこれがいいというご意見はありませんか。
ほかに意見はないでしょうか。それでは、書写については11学図を採択するというところでよろしいでしょうか。
〔異議なし〕の声
それでは、書写につきましては11学図を採択します。
続いて、社会について説明をお願いします。
- 学校支援課長 社会につきましては、2東書、17教出、116日文の3種が推薦されました。現在使っているものは、17教出です。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 それでは、ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。
- 田中委員 私も社会を全部見まして、それぞれのよさがあるなと思っています。東書については、どの学年においても「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった問題解決的な内容構成になっていまして、子どもにとっては非常にいいのではないかと感じています。
- 渡邊節子委員 それぞれの特徴がある中で、教育出版には「〇〇さんの話」ということで、本当に身近にいらっしゃるような人、あるいは少し自分の周りにはいない人という方々の話がたくさん出てきていて、それがとても子どもたちに訴える力になると思いました。
- 渡邊純子委員 私も同じく教出なのですが、学年の振り返りというものが後ろのほうに必ずあつたりして、とてもいいと思っています。あと、社会科の見方や考え方を視覚的に分かりやすく掲載されていて、いいなと思っています。
- 山倉委員 私も教育出版がいいなと思いました。それは、4年生の教科書で三条市の水害のことが取り上げられていましたし、5年生の教科書では新潟県のお米、特に南魚沼市の米づくりのことが取り上げられていました。新潟県の身近な題材が出ているということは、興味を持って学習できるのではないかと思います。
- 教育長 教育出版がいいのではないかとご意見が多かったようですけれども、ほかにご意見はありませんか。
それでは、社会につきましては17教出を採択するというところでよろしいでしょうか。
〔異議なし〕の声
それでは、社会につきましては17教出を採択します。
続いて、地図をお願いします。
- 学校支援課長 地図については、2東書、46帝国の2種が推薦されています。現在は、2東書を使っております。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 それでは、ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。
- 山倉委員 帝国では、地域ごとに「地図マスターへの道」というものがありました。

それぞれの地域に関する問題が出ています。答えを探しながら楽しく学ぶことができるのではないかと思います。

○田中委員

東書も帝国も、よく見ていきますと、版が大きくなっていますし、それから見やすい、あるいは表現が工夫されていますので、非常に差がつけにくいと感じたところです。

○小野沢委員

帝国書院の地図ですが、索引に9ページとってあり、文字のポイントが大きくて、行間に余裕があつて調べやすいということと、全体にやさしい色使いです。そして、新潟県が100万分の1の図で中部地方から独立して、1ページ単独で掲載されているところが、新潟市の子どもたちが学ぶには、分かりやすくいいのではないかと思います。

○教育長

ほかにかがででしょうか。こちら差がつきにくいかなという中で、帝国の図書が楽しく分かりやすいのではないかというご意見ですが、地図につきましては46帝国を採択するというのでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、地図につきましては46帝国を採択します。

続いて、算数をお願いします。

○学校支援課長

算数については、2東書、11学図、17教出の3種が推薦されています。現在は、11学図を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。

○上田委員

東書の教科書ですけれども、折り返しの場面を吹き出しにするなどの工夫がしてあつて、毎時間の学習のつながりを意識した構成になっているところがよいと思いました。

○市嶋委員

学図の教科書ですけれども、「プログラミング的な思考を育む」というページがありまして、これは非常にいいと思いました。ゲームとかでもプログラミングを使ったというか、そういった内容で楽しんでいるようなこともありますし、また、これからは特にパソコンを使った教育も非常に必要になってくると思いますので、そういった意味で、まずは子どもの興味・関心を促すという意味では、非常にいいページだと思いました。

○渡邊節子委員

私も学図がいいと思いました。数学的なものの見方・考え方を見つけることはとても大事だと思うのですが、そういったものをキャラクターで表していて、視覚的な視点から見方、考え方をおさえやすくなっていて、また、親しみが持てるようなキャラクターで、いいのではないかと思います。

○田中委員

高学年の子どもたちにとっては、割合あるいは単位量あたりの大きさというのはとても苦手な単元の一つなのです。これについては、全国学力・学習状況調査でも同様の傾向が見られます。この部分に関して、学図は図と表を併用しながら子どもたちに理解を促してしまつて、応用にもつながるということで、とても工夫されていると感じました。

○教育長

学図がよいのではないかという意見が多く出ていますが、ほかにかがででしょうか。

それでは、算数につきましては11学図を採択するということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、算数につきましては11学図を採択します。

続いて、理科をお願いします。

○学校支援課長 理科については、2東書、11学図、17教出の3種が推薦されています。現在は11学図を使用しています。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。

○佐藤委員 理科ですけれども、推奨されている教科書をすべて見せていただきました。どこも子どもたちの興味を引くために、単元の最初に課題を掲載していて、その文章が疑問文になっているのです。そういうところで、子どもたちがその内容について、よし、こうやってみようとか、考えてみよう、調べてみようというモチベーションを上げる工夫がされているということで、とても工夫されていると思いました。

ただ、甲乙つけがたいというのが私の印象で、なかなか選びづらいと思っています。

○渡邊純子委員 私は学図がいいと思ったのですが、自然科学に興味をもつような構成になっていると思います。特に写真のレイアウトが見やすく整理されていてとてもよくて、最後のページに科学者の言葉が各学年にあるのがとてもいいなと思います。

○山倉委員 私は東書なのですが、全体にイラストや写真が多く使われていて分かりやすいと思いましたし、学習内容につながるようなところでは漫画でのやり取りということで、子どもたちが見てもとても分かりやすいような工夫がされているなどという感じを受けました。

○教育長 甲乙つけがたいという中で、学図、東書というご意見がありましたが、ほかにいかがでしょうか。

○上田委員 学図の教科書の中にある「問題をみつけよう」というものに惹かれたのです。今は当たり前のように物があって、何気なく生活している中で、なんでこうなるのだろうという疑問をもつ力を身につけるのに役立つのではないかと思います。

○市嶋委員 一つ教えていただきたいのですが、どの教科書会社もQRコードを載せていて、それを使って何か学習を促すということだと思っておりますけれども、理科の科目において、そのよさがどういったところにあるのか、教えていただけませんか。

○学校支援課長 各社それぞれ違うのですが、理科でいえば、実験器具の使い方を動画で示すページに導いたり、調べ学習のためのWEBサイトを紹介したりということで、QRコードを載せている会社があるようです。

○教育長 若干、学図のご意見が多いかなというところですが、ほかの委員の皆さんはいかがでしょう。

田中委員、ご意見はありませんか。

- 田中委員 皆さんが言っているのを聞いていると、確かにそのとおりだと思いますけれども、やはり、学図のところで、先ほど、問題が疑問形になっているというお話もありましたし、最終的に分かったことがきちんとまとめられていく、そして新潟市が推奨している「学習課題」と「まとめ」という形で、学図はそういう思考の流れを大事にしているということで、私も学図がいいのではないかと考えています。
- 教育長 学図について賛成というご意見が多かったようですけれども、理科については11学図を採択するということによろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、理科につきましては11学図を採択します。
 続いて、生活についてお願いします。
- 学校支援課長 生活については、2東書、11学図、38光村の3種が推薦されています。現在は、11学図を使用しております。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問等がありましたら挙手をお願いします。
- 佐藤委員 現在使用しているものは学図だということですが、私は、今回の教科書も学図がいいと思いました。最初が1年という中で、子どもたちが興味を持つことがまずは大切だと思います。そういう中で、大判の写真がたくさん掲載されていて、先ほど言った興味を持たせるという意味では、一番いいのではないかと感じました。
- 田中委員 生活のそれぞれの教科書を見たわけですが、どの教科書を見てもスタートカリキュラムの充実ということが図られています。これはまさに新潟市が今進めているところにぴったり合うと思っていますし、今ほど佐藤委員が言われたように、写真が非常にたくさん掲載されているということで、子どもたちの学習活動への動機づけを図るような工夫がどの教科書もされていると感じました。
- 渡邊純子委員 東京書籍なのですが「生き物単元」の昆虫の飼育に関して、上下巻とも具体的に示されていて、しかも、理科の教科書と連動しているのがいいと感じました。
- 教育長 学図、東書それぞれのご意見がありましたが、ほかにはいかがでしょうか。
- 小野沢委員 東京書籍ですが、ところどころに子どもたちの発見したようなつぶやきが吹き出しになって載っているところが多いのです。それと、生活や遊びとちょっとした科学的なところを結びつけているページも多くて、例えば、外で遊ぼうということで、風車で遊んでいたりと、そうすると、速く走ると速く回るよねとか、ではとまっけていてもどうやったら風車を速く回せるかなという問いかけの中で、この教科書の中で子どもたちが動き出すわけですが、そういったところを見ると、東京書籍の生活の教科書もいいと思います。
- 教育長 どの教科書も工夫されている中で、今、東書というご意見が続きましたが、ほかの皆様はいかがでしょう。

特にならなければ、生活につきましては2東書を採択するという
ことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、生活につきましては2東書を採択いたします。

続いて、音楽をお願いします。

○学校支援課長 音楽については、17教出、27教芸の2種が推薦されています。現在は
27教芸を使用しています。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いします。

○市嶋委員 教芸の教科書ですけれども、音楽ということで、なじみのない子ども
たちにとっては五線譜や記号、また符号と、なかなか入ってこない子ども
は入ってこない教科の内の一つという中で、非常に教科書のデザインが
分かりやすく、かつシンプルに作ってあるので、音符や記号が覚えや
すいように工夫されて作ってあると思います。教芸の教科書は非常にい
いなと思いました。

○山倉委員 私は教育出版なのですが、子どもたちが小学校で演奏する鍵盤ハー
モニカやリコーダーなどの指の使い方、リコーダーはどこを塞ぐと何の音
が出るのか、そういうところがとても丁寧に図解で解説されていて、見て
いて分かりやすいのではないかと思います。

○教育長 ただいま、教芸、教出というご意見がありましたが、ほかの皆様、いか
がでしょうか。

○上田委員 私は、教芸が全体として親しみやすい曲を子どもの年齢に合わせて選
んでいるように感じましたので、教芸がいいと思います。

○佐藤委員 私も教芸がいいと思いました。最初に市嶋委員から、音楽に関してな
なじみのない子どもにとっては、やはりデザイン的なところがとても見やす
いものがあるのではないかとのお話がありましたけれども、高学年、5、
6年生の巻末には「振り返りのページ」があって、音符、記号であるとか、
それから、私は6年生の教科書を見ているけれども、リコーダーの運
指表も書かれていたり、習ったところが巻末にまとめられているのです。
あれどうだったかなと思ったときに、巻末を見れば分かるというまとめに
なっているので、子どもたち全体を見たときには、音楽になじみのない
子どもは特にこういうものがあると理解しやすいのではないかと思います。

○教育長 教芸がよいのではないかと意見が多いようですけれども、ほかにご
ざいますか。

ないようでしたら、音楽につきましては27教芸を採択するという
ことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、音楽につきましては27教芸を採択します。

続いて、図工をお願いします。

○学校支援課長 図工については、9開隆堂、116 日文の2種が推薦されています。現

在, 116 日文を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ご意見, ご質問ございましたら挙手をお願いします。

○渡邊純子委員

私は日本文教出版の本が良かったと思います。というのは, 身近な材料を使った内容のものが多くて, 授業で行った後も応用ができたり, 授業以外にも自分で楽しみながら学習することができるように思いますので, いいと思いました。

○小野沢委員

同じ日文の教科書ですが, まず開くと「教科書美術館」というページがあります。そこに現代アートや自然界にあるものがぱっと目に飛び込んでくるのです。自然界にあるものがいかにさまざまで色も形も違うか。切り取り方で大きく変化するところが面白い。図画工作に関して, 自分のやり方でいろいろなことができるのだというところを非常に楽しく表現されていて興味を持ってくれるのではないかと思った。また, 教科書全体にすべて見開き2ページで題材を紹介しているので, 大変見やすいと思います。それで, 日文がいいのではないかと思っています。

○山倉委員

私も日文がいいと思って見ていました。道徳とつながりのある題材のところには道徳マークがついているのです。図工で道徳というのはどうなのだろうと思いながら見ていたのですが, 例えば, 焼き物, 一生懸命作ったものだから大切にしようとか, 自分の気持ちを色使いに表そうということで, いろいろな人がいろいろな色を使う, ほかに人も認めよう, 友だちとつながりを持とうということが載っていましたので, とても独特だと思いながら見ていました。

○教育長

今, 日文がいいのではないかとということですが, ほかにご意見はありませんか。

ないようでしたら, 図工につきましては 116 日文を採択するということがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは, 図工につきましては 116 日文を採択します。

続いて, 家庭をお願いします。

○学校支援課長

家庭については, 2東書, 9開隆堂の2種が推薦されています。現在は 9開隆堂を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ご意見, ご質問がありましたら挙手をお願いします。

○山倉委員

東書ですが, ところどころに「生活を変えるチャンス」というコーナーがありました。今まで学習したことを生かして, 自分は何のために, 例えば, お父さんとかお母さんとか, 何ができるか。お父さんお母さんはこれが必要だからこれを作ってあげようかなとか, 学習だけではなくて, 実践してみようという気持ちが出てくるような内容のコーナーでしたので, とてもいいなと思いました。

○田中委員

私も山倉委員と同様のことを感じていて, 例えば, 東書の場合, 各題材がステップ1, 見つめよう, ステップ2, 計画しよう, 実践しよう, ステップ3, 生活に生かそう, 新しい課題を見つけようという形で構成されてい

ます。実践した後にもっと自分の生活をよくしようとか、こうするともっと工夫された物になるのではないかということで、一人一人の子どもが考えられるところがとてもよくできていると思いました。

○教育長

今、東書がよいのではないかというご意見がありました。ほかにかがでしょうか。

○小野沢委員

どちらも非常に子どもたちがチャレンジしたくなるような内容で見やすいのです。確かに、東京書籍の教科書は、振り返ろう、次に生活に生かそう、発展的なチャレンジを促すようになっているのですが、開隆堂の教科書も少し評価したい点がありまして、こちらは、例えば、手ぬぐいの使い方やおせち料理のいわれは何だろうというような、伝統的なものについて触れているページがありました。それから家庭科の用語を英語で言うとうどうなるということで、外国語がスタートしている中で、家庭科の教科書の中にも、例えば、キュウリはキューカンパーです、なすはエッグプラントです、おにぎりはライスボールですというところがあるのです。そうすると、開隆堂の教科書もなかなかいいのかなとは思っています。ただ、これは小学生でなくてもいいかなと。私はどちらも非常に甲乙つけがたいのですけれども、開隆堂も非常に評価したい点があるということで、お伝えしておきたいと思います。

○教育長

どちらもいいという中で、東書がいいのではないかということですが、他にご意見はありますか。

ないようでしたら、家庭につきましては2東書を採用するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、家庭につきましては2東書を採用します。

続いて、保健をお願いします。

○学校支援課長

保健については、2東書、208 光文、224 学研の3種が推薦されています。現在は、2東書を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

○渡邊節子委員

私は、東書がいいと思いました。一つは写真やイラストが大きくて分かりやすく、難しいところも写真で分かりやすく伝えてもらったり、理解しやすくというようになっていると思います。

もう一つですが、実習が教科書の中にあるのですけれども、例えば、ストレスにかかわる中で、実習でリラックス状態を体験しようというものがある。そのプロセスがとても丁寧に、この手順でやると体験しやすいと書かれていて、内容がとても丁寧なのではないかと思います。私が知っている範囲での見方なのですけれども、そういった観点から東書がいいのではないかと思いました。

○山倉委員

渡邊節子委員が写真がたくさんあって見やすいと言ったのですが、私もそうだと思います。東書です。実験をした写真がとても多く扱われていると思いました。例えば、下着や靴下の汚れを薬品を使って、こんな

に汚れているのだというようにしたり、手の汚れを寒天につけて、こんなに菌が増えたのだということを比べたり、子どもたちが目で見て、本当だ、こんなに菌が増えているのだなと分かるように工夫されていると思いました。

○教育長 東書がいいのではないかというご意見が出ておりますが、ほかにいかがでしょうか。

○市嶋委員 私も皆さんの意見と同じなのですが、学研も東書も、この二つで非常に感じたのですけれども、保健という教科は、恐らく視覚的に目で覚えていくことも非常に大きい科目だと思っております。その中で、この2社の教科書については非常に見やすい紙面になっておりまして、子どもが楽しく、目で見ても覚えられる、非常に見やすい教科書だと思いました。

○教育長 ほかにご意見ございますか。

ないようでしたら、保健につきましては2東書を採択するという事によろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、保健につきましては2東書を採択いたします。

続いて、外国語についてお願いします。

○学校支援課長 外国語については、2東書、15三省堂、17教出の3種が推薦されています。これは来年度から新たに採択されます。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問がございましたら挙手をお願いします。

○渡邊節子委員 質問をお願いします。こちらは小学校の教科書ということで、外国語に関しては中学校に行ってからまたそこで深く学ぶことになると思います。それで、どの教科書も小学校から中学校への移行がスムーズにいくように考えられていると思いますが、その中でのポイントというか大切になるものはどういうことだとお考えですか。

○学校支援課長 同じ単語を扱うにしても、小学校ではどうしても音声を中心になるのに対して、中学校では文字で書いて表現していくことが求められていきます。そこで、小学校段階でも、英語に親しみ、書いて表現したいという期待をもって中学校の学習につなげていくような意欲づけが大切だと考えています。

○田中委員 今ほどの渡邊節子委員の質問にも関連するのですけれども、東書には「ピクチャーディクショナリー」という、いつでもどこでもずっと使えるという別冊がついているのです。これを見ますと、スポーツとか色とか形とか食べ物、動作、いろいろなものが絵と写真と英語で表記されているわけです。非常に中学校への意欲づけがなされるということで、実際、子どもたちはこれを見ながら小学校でこれを使い、さらにまた中学校に行ったら頑張りたいという気持ちになるのではないかと考えています。

○市嶋委員 私は三省堂の教科書ですけれども、生活の場面に合わせた単語が分

かりやすくまとめられているのですが、実際、映画とか何でも、その場面その場面で単語を覚えていくと非常に覚えやすいのではないかという意味では、単語をこういうやり方で覚えていけるのは非常にいいと思います。

○教育長 ただいま、東書と三省堂というご意見がありました。ほかの委員の皆様、いかがでしょうか。

○上田委員 これから小学校の児童の皆さんが外国語を習い始めるということで、そういう意味で、教科書を見せていただいたのですけれども、東京書籍と教育出版の教科書はイラストや図がとても分かりやすく構成されていて、子どもたちにとってはなじみやすいような作りになっていると思いました。

○佐藤委員 先ほどの渡邊純子委員の質問に対して学校支援課長がおっしゃった外国語ですけれども、中学校より小学校においては書くことよりも話すことに重点を置くというお話がありました。東京書籍の教科書は、巻末にこういうカードがたくさん載せられていて、言語活動とかそういうものにつなげられるようなツールがたくさんあって、この点は非常にいいなと思いました。

○教育長 三省堂、教出とそれぞれいいというご意見もありましたが、東書がいいのではないかというご意見が多数出されていますが、ほかにご意見ございますか。

特にないようであれば、いいのではないかというご意見が一番多かった東書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、外国語につきましては2東書を採択します。

続いて、道徳をお願いします。

○学校支援課長 道徳については、2東書、38 光村、224 学研の3種が推薦されています。現在は、38 光村を使用しています。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問がございましたら挙手をお願いします。

○渡邊純子委員 最近、情報モラルが問題になっているのですけれども、東書にはその情報モラルというコーナーが吹き出しになって表示されていてとても見やすく、また、その内容も教材に位置づけられているので、いいのではないかと思います。

○田中委員 今、渡邊純子委員が指摘された情報モラルについてですけれども、例えば、光村でも、情報モラルについては、6年生でスマートフォンあるいは通信機能付きゲーム機を使ったことってあるという、具体的にそういう場面を示しながら情報モラルについて取り上げていますし、さらに、いじめあるいは生命の尊さに対応した内容をどの学年でも取り扱っているという点で、私は光村がいいのではないかと思います。

○渡邊純子委員 私は光村がいいと思いました。いろいろな教材文があるのですけれども、その後に「考えよう」とか「話し合おう」というところで、どう思いますか、なぜでしょうというポイントがあったり、あるいは、どんなことだと思

ますかといういろいろな問いかけがあるのです。その問いが広く問いかけている感じで、決まった答えを導き出そうという感じではない問いかけだと感じられて、光村がいいと思います。

○山倉委員

実際に読み比べてみて、私は内容的にどれがいいとはっきり言えないという感じがしました。ただ、読んでみて、私は光村の文字が見やすく読みやすかったという感じを受けました。

○小野沢委員

どの教科書も本当に考えさせられる文章が載っているのです。その中で、光村は、幸せは何が幸せという問いかけが5年生の中にあるのです。幸せというのはどういうことだろうとみんなで考えるのはとても大切なことだと思います。そして、5年生の教科書をめくっていくと、最後にやなせたかさんのアンパンマンの歌の歌詞が全文、夕暮れにアンパンマンが飛んでいく絵とともに載っているわけです。小さいころから慣れ親しんだ歌を小学校5年生になって改めて読んだときに、幸せって何だろうと教科書の中で問いかけられながら、最後にここにたどり着くようなところも、小さいときは違った感覚で歌を聞いたり歌ったりしてくれるのではないかと思うと、親しみやすさという点でも光村の道徳の教科書はいいと思います。

○教育長

光村がよいのではないかという意見が多数出ておりますが、ほかにございますか。

特にないようでしたら、道徳につきましては38光村を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、道徳につきましては38光村を採択します。

それでは、議案第11号については、ただいま採択したとおり承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、そのように決定します。

次に、議案第12号、2020年度使用新潟市立中学校用教科用図書(道徳以外)の採択について、審議します。学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

それでは、議案第12号、2020年度使用新潟市立中学校用教科用図書(道徳以外)の採択について、説明いたします。

別冊の1ページをご覧ください。先ほど申し上げた小学校同様、2020年度使用中学校教科用図書(道徳以外)については、5月の教育委員会の諮問を受けて、調査員の調査研究を基にした教科用図書審議委員会で審議し、答申されました。別冊の79ページから別冊の159ページまで、教科ごとに記載されている教科用図書が答申されています。

続いて、中学校で使用する道徳以外の教科用図書について、2点、補足説明いたします。1点目は、特別の教科道徳以外の教科書採択については、学校教育法附則第9条の規定により、中学校用教科書目録

に登録されている教科書の中から採択することとなっています。

2点目は、2020年度に新たな教科用図書採択になりますので、今回採択する教科用図書は、2020年度の教育課程から1年間の使用となります。

次に、答申までの経緯ですがこれも小学校と同様、県の教科用図書研究資料を参酌し、併せて新潟市立総合教育センターとほんぼーとに設置された新潟教科書センターの閲覧者から寄せられた意見等も参考にさせていただきながら、調査研究書を審議していただきました。令和元年6月12日に第1回調査員打ち合わせ会を開催し、その場で教科用図書採択の基本方針、諮問内容等を確認し、複数回の調査研究の会を開催し、報告書でまとめられています。

中学校部会の研究の観点は、2の(1)、(2)に示したとおりです。

以上が、答申までの経緯、専門調査員の研究経過の報告です。ご審議をよろしくお願いいたします。

○教育長

ただいま説明がありましたように、中学校で使用する道徳以外の教科用図書については、中学校用教科書目録に登録されている教科書であること。2020年度1年間の使用であるということです。この点を踏まえ、現在の新潟市の教育課題と子どもたちの実態を基に、より適した教科書を採択することになります。こちら審議委員会から専門的な見地から慎重に協議・検討した結果として、答申をいただきました。

ここまでについて、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

○佐藤委員

今ほど学校支援課長から説明があった中で、ここに二つの補足がありますけれども、今回採択する教科書が1年間の限定ということです。昨年の小学校用教科用図書の採択で同じような議論を記憶しているのですけれども、ポイントとしては、最終的に、今使っている教科書を継続してはどうかという方向性になったと記憶しています。そのポイントはいろいろあると思うのですが、その一つとしては、教科書が変わることによる先生方の負担が大きいのではないかと考えています。教科書が変更になると、授業を作るために事前の準備が必要になってくるわけですが、これに大きな労力と時間を費やすわけです。そう考えたときに、先生方の働き方改革を進めている現状の中で、1年間だけで使う教科書を変えるのはあまり得策ではないのではないかと感じております。そういう中で、今使っている教科書に特に問題がないのであれば、このまま継続してはどうかと考えています。

○渡邊節子委員

佐藤委員の意見に関連して、1年間だけの使用ということですが、現在使っていて使いづらいという声が先生方から上がっていたり、何か不具合はありますか。

○学校支援課長

特に、使いづらい等の問題点は聞いておりません。

○小野沢委員

現在、不都合という声が聞こえていないのであれば、同じものを使用したほうが子どもたちにとってもいいのではないかと思います。

- 教育長 今、1年だけということなので継続したほうがいいのかというご意見が出ておりますが、ほかにご意見はございますか。
- 田中委員 私も継続して使用することには賛成なのですが、審議委員会から研究報告書が答申されているということですので、私たちが事前に把握した教科書の特長を一つずつ確認しながら採択していったほうがでしょうか。
- 教育長 それでは、中学校教科用図書については、継続して使用することを基本にしたうえで、教科ごとに答申された内容を基に特長を確認して採択していくということによろしいでしょうか。
- (「異議なし」の声)
- それでは、学校支援課から、教科ごとに説明をお願いします。
- 学校支援課長 第2回審議委員会で新潟市の子どもたちに適しているものとして推薦された教科書発行者名のみ、お伝えします。発行者番号順で、発行者については略称を用います。
- それでは、別冊の 79 ページ、国語をお開きください。国語は2東書、15 三省堂、38 光村の3種が推薦されています。現在使われているのは、38 光村です。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。
- 渡邊節子委員 光村については、「学習の窓」というコーナーで身につける力のポイントが示されているところがよいと思いました。
- 渡邊純子委員 古典の原文の書体などを変えて、1年生が緑色で2年生が茶色という感じで左側に現代文訳をつけているのはとてもいいと思っています。これはぜひお勧めしたいと思いました。
- 教育長 それでは、現在使用の光村でよろしいのではないかとご意見ですので、国語については 38 光村を採択するということがよろしいでしょうか。
- (「異議なし」の声)
- それでは、国語につきましては 38 光村を採択します。
- 続いて、書写についてお願いします。
- 学校支援課長 書写については、2東書、11 学図、38 光村図書の3種が推薦されておりまして、現在、11 学図を使っております。ご審議をお願いします。
- 教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 山倉委員 学校図書は、最初に毛筆を学習します。その毛筆の学習を生かして、次に硬筆という流れがあって、とてもいいと思いました。そして、課題がきちんと示してあり、今日は何を学習するのかがはっきりしているので、子どもたちは学習しやすいのではないかと思います。
- 市嶋委員 私も学図を見せていただいて、この中に臨書など、実際に興味のある子どもたちにとっては、こういう発展的な学習が紹介されていて、それをきっかけにそういったものに興味を持てるというところで、非常にいい部分だと思って拝見いたしました。

- 教育長 これまでの学図でいいのではないかというご意見ですので、書写につきましては11学図を採択するということによろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、書写につきましては11学図を採択します。
 次に、社会の地理的分野についてお願いします。
- 学校支援課長 社会(地理的分野)ですけれども、2東書、17教出、46帝国の3種が推薦されています。現在使っているものは、2東書です。お願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問がございましたら挙手をお願いします。
- 渡邊節子委員 比べてどれがというところがなかなか難しいと思いましたが、東京書籍は学習課題が、学習課題という言葉ではないですけれども、全体に短くてすっきりとしていて、簡潔でシンプルな感じがして、そこがよいのではないかと思いました。
- 佐藤委員 現在使っている東書もいいところなのですけれども、「地理にアクセス」とか「ティーブレイク」というコーナーがありまして、コラムのようなものが掲載されているのですけれども、実際に単元として取り扱っている各地の文化に対して興味を促したり、興味を深めるような特集が組まれていて、教科として地理を習うというか勉強するわけですけれども、そこから先で自分で興味を持ったときにはさらに調べていくような工夫がされていて、とてもよいと思いました。
- 教育長 現在使用している東書がいいのではないかというご意見ですので、社会につきましては2東書を採択するということによろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、社会につきましては2東書を採択します。
 続いて、社会の歴史的分野をお願いします。
- 学校支援課長 社会の歴史的分野ですけれども、2東書、17教出、46帝国の3種が推薦されています。現在使っているものは、2東書です。お願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 上田委員 今使っている東書教科書は、偶数ページの下に年表が書いてあります。それで、今、どの時代を習っているかが赤いマークでついていて、明確で工夫されていると思いました。
 私は歴史があまり得意ではなかったのです。どこを習っているのだろうということもあったのですけれども、そういう人にはこういうものがあると道しるべになっていいと思いました。
- 田中委員 先ほどの地理的分野のところ佐藤委員も言っていたのですけれども、東書には、章末に「深めよう」とか「時代の特色をとらえよう」というコーナーがあったり、「歴史にアクセス」というコラムがところどころに配置されています。それぞれの時代の文化やできごとの理解を深める工夫がなされていて、子どもにとっては非常にいいのではないかと思います。

	<p>ていると分からない観点が分かって、より一層興味が持てる工夫がされていて、とてもよいなと思いました。</p>
○教育長	<p>現在使用している帝国がとてもよいのではないかというご意見ですが、地図につきましては46帝国を採択するということでよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>それでは、地図につきましては46帝国を採択します。</p> <p>続いて、数学をお願いします。</p>
○学校支援課長	<p>数学ですが、2東書、61啓林、116日文の3種が推薦されています。現在は、61啓林を使用しています。よろしくをお願いします。</p>
○教育長	<p>ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。</p>
○田中委員	<p>私はどの教科書も見てもそれぞれ工夫されていると思ったのですが、とりわけ啓林館については「自分の考えをまとめよう」あるいは「みんなで話し合ってみよう」という形で、アクティブラーニングを非常に意識した、他者に伝えるという学習活動が含まれていますので、子どもの表現力を伸ばすには大変いいのではないかと考えています。</p>
○上田委員	<p>今、田中委員がお話しになったことに加えて、啓林は別冊が用意されています。そこには、今まで学習していた既習事項や、少し難易度の高い問題も掲載していました。それは個人差に応じた内容となっているところがよいと思いました。</p>
○教育長	<p>現在使用している啓林がよいというご意見ですので、数学につきましては61啓林を採択するということでよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>では、数学につきましては61啓林を採択します。</p> <p>続いて、理科をお願いします。</p>
○学校支援課長	<p>理科については、2東書、11学図、17教出の3種が推薦されています。現在、11学図を使用しております。ご審議をお願いいたします。</p>
○教育長	<p>ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。</p>
○佐藤委員	<p>個人的な思い出話になってしまうのですが、小学校の時代はあまり理科が得意ではなかったのですが、中学校になって理科が好きになったのです。きっかけは、担任の先生が理科の担当だったので、この先生はとても実験が大好きで、実験をやるたびに必ずレポートを出させられました。そのレポートについては、どういう実験をするのかという方法、それに対する予想であったり、やった結果、それから、その結果からの考察、考察からのまとめ、そこまでしっかりと書いてレポートを出しなさいという先生でした。そのように、自分の考えをレポートにまとめることができるようになってきたら、自分の考えを整理しやすくなったのです。</p> <p>当時の教科書はそれほど実験に関することについては詳しい説明がなかったのですが、今使用している学図には「実験のページ」がありまして、今言ったような流れの方法、結果、考察、まとめという表示が</p>

きちんと詳細に書かれていて、考えの進め方、流れが分かりやすくなっています。その点がとてもいいなと思いました。多分、理科でこういう思考の流れを訓練しているとほかのものにも応用できるのではないかと思いますので、とてもいいと思いました。

○渡邊節子委員 私も、実験結果について解説が丁寧で、またそこで理解が深まるという点で、学図がよいと思いました。また、特に、写真や表が見やすく、少し苦手意識があってもとても見やすいところがよいのではないかと思います。

○教育長 現在使用している学図でいいのではないかというご意見でしたので、理科につきましては11学図を採択するというので、よろしいでしょうか。
〔「異議なし」の声〕

それでは、理科につきましては11学図を採択します。

続いて、音楽(一般)をお願いします。

○学校支援課長 音楽(一般)ですけれども、17教出、27教芸の2種が推薦されています。現在は17教出を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

○渡邊純子委員 私は教育出版がとてもよかったと思います。それぞれの教材を「音楽の要素を捉えながら」、「さまざまな音楽文化」、「歌い合わせ聴き深める喜び」という三つの分野に分けて、そして、教材と関連させているところが学習につながるのではないかと思います。

また、個人的には選曲なども、現代的なものから古典的なものまで、とてもバラエティーに富んでいていいと思いました。

○市嶋委員 私も教出が引き続きいいなと思って見せてもらいました。まず、右上に記号や用語が載っているページもあれば、小学校の教科書もそうなのですけれども、やはり、分からなくなってしまうと巻末にきちんと用語であったり記号の意味が載っているというのは非常に振り返りでいいと思っています。音楽が楽しめないというのは、多分、楽譜が読めないとか、家に帰ってピアノの前に座っても弾けない理由は、大体楽譜になじんでいないからというのが大きな理由の一つだと思います。楽譜になれるという意味では、記号、用語がいつでも振り返られる、非常にいい作りになっていると思います。

○教育長 それでは、音楽(一般)につきましては、現在の17教出を採択するというのでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

それでは、音楽については17教出を採択いたします。

続いて、音楽の器楽をお願いします。

○学校支援課長 音楽(器楽)ですけれども、17教出、27教育芸術社の2種が推薦されています。現在は17教出を使用しています。ご審議をお願いいたします。

○教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

- 山倉委員 教育出版はユニバーサルデザインを意識しているということで、とても配色がきれいで見やすいというのが第一印象です。あと、楽器の演奏の写真や挿絵が多くあって、楽器の記号などが載っていて、学習する内容がとても分かりやすいなという感じを受けました。
- 田中委員 私も山倉委員の付け足しなのですが、教育出版は日本の音楽あるいは楽器について、説明が非常に丁寧なのです。中には手作りの横笛の製作の紹介、あまりこういうものは見たことがないので、非常に発展的な学習に結びつく構成となっているところが、とてもよくできていると思いました。
- 教育長 それでは、現在の教出でよいというご意見ですので、音楽の器楽については17教出を採択するというところでよろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、音楽の器楽につきましては17教出を採択します。
 続いて、美術をお願いします。
- 学校支援課長 美術ですけれども、9開隆堂、38光村、116日文の3種が推薦されています。現在は、38光村を使用しています。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 では、ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 渡邊節子委員 美術の教科書はどういった視点で選べばいいのかがなかなか難しいのではないかと考えたのですが、光村に関しては、とても大きな、例えば、日本文化の紹介に風神雷神などの迫力のある作品が使われていたり、新潟ゆかりの大地の芸術祭のような身近に感じられる作品もあったりということで、関心を持って作品鑑賞ができるのではないかと思います。手にして楽しいなという、本当に主観的なものなのですが、それが私は光村にあると思いました。
- 佐藤委員 今回の渡邊節子委員の意見に付け足しのような感じなのですが、例えば、十日町市博物館所蔵の笹山遺跡出土の火焰型土器も、一部実物大で掲載されていて、とても迫力のある構成になっていると思いました。渡邊節子委員が言ったような鑑賞後の感想という意味では、生徒同士の意見交換が活性化するのではないかと感じて見ておりました。
- 教育長 それでは、美術につきましては38光村を採択するというところでよろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、美術につきましては38光村を採択します。
 次に、保健をお願いします。
- 学校支援課長 保健は2東書、4大日本、50大修館の3種が推薦されています。現在は、4大日本を使用しています。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 上田委員 今使っている大日本図書ですが、写真やイラストがよく使われておりまして、特に写真は有名な選手を採用していました。生徒が興味を持って学習できると感じました。

- 渡邊節子委員 大日本については横幅が大きくなっていたり、ページがめくりやすいように目印がついていたという工夫があり、それがよいと思いました。それから、資料がとても豊富で、中学生がじっくり考えるときにとてもよいのではないかと思います。
- 教育長 それでは、保健については、現在使用している大日本を採択するというところでよろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、保健につきましては4大日本を採択します。
 続いて、技術・家庭の技術分野をお願いします。
- 学校支援課長 技術・家庭の技術分野ですけれども、2東書、6教図、9開隆堂の3種が推薦されました。現在は、2東書を使用しています。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 山倉委員 東書は、教科書のサイズがAB版です。横幅がとても広がっていますので、使い方の説明、写真や図が大きく載っていますので、とても見やすく分かりやすいという感じを受けました。
- 市嶋委員 同じく東書は、全てのパートの終わりに「学習のまとめ」というコーナーがあつて、けっこう細かいですけれども、これが理解できましたかということがまとめの項目に一覧になっていて、自分がこれをきちんと分かってこのパートが終われるということを確認できるので、非常にいいなと思つて見ておりました。
- 教育長 それでは、技術・家庭の技術分野につきましては、現在使用している2東書を採択するというところでよろしいでしょうか。
 (「異議なし」の声)
 それでは、技術・家庭の技術分野につきましては2東書を採択します。
 続いて、技術・家庭の家庭分野についてお願いします。
- 学校支援課長 技術・家庭の家庭分野ですけれども、2東書、6教図、9開隆堂の3種が推薦されています。現在は、2東書を使用しています。ご審議をお願いいたします。
- 教育長 ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。
- 渡邊純子委員 私も東京書籍が技術分野に引き続きいいと思います。というのは、先ほども紹介があつたのですけれども、見開きでとても見やすく、内容もひとまとまりになっていて分かりやすいということで、とても分かりやすいのではないかと思います。
- 小野沢委員 東京書籍の家庭科分野なのですが、まず、表紙に自立と共生を目指してとあるのです。そのとおりで、開いていくと、本当に元気な体を作るための栄養から、何をどれくらい取ればいいのか、食べ方はどうなのだ、作り方はどうなのだという食生活に関する単元があつて、次に、衣服になっていくと、TPOについてとか、マイコーデイナーとか、日本古来の模様とか伝統的な織物を学んだり、そして、後半に行くと消費者としての学

びというものがある、これから自立と共生を目指していくうえで、自立していくということに特に注目していくと、消費者として何が大事なのかということも家庭科の教科書で学ぶことができるので、東京書籍の家庭科の教科書は非常にいいと思います。

○教育長

それでは、技術・家庭の家庭分野につきましては、現在使用している2東書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、技術・家庭の家庭分野につきましては2東書を採択します。続いて、外国語をお願いします。

○学校支援課長

外国語は2東書、9開隆堂、15三省堂の3種が推薦されております。現在は、15三省堂を使用しております。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ご意見、ご質問ありましたら挙手をお願いします。

○渡邊節子委員

三省堂ですが、辞書の引き方や活用方法、それから英語の学習方法が具体的に書かれていて、そこで自学自習がしやすくなっていて、自ら学ぶ姿勢を育てる、英語をそうやって学んでいくことに関して、大変よいと思いました。

○田中委員

今ほどの渡邊節子委員の発言に付け足しなのですけれども、三省堂の教科書は、巻末に「キャン・ドウ・リスト」というものがついていて、当該学年でできるようになってほしいことがそこに示されているのです。それを使って生徒が自己評価と振り返りをできるようになっているところがとてもよくできていると思っています。

○教育長

それでは、外国語につきましては15三省堂を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、外国語につきましては15三省堂を採択します。

それでは、議案第12号について、ただいま採択したとおり承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

では、そのように決定します。

次に、議案第13号、2020年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書(道徳以外)の採択について審議します。学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

では、議案第13号、2020年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択についてご説明いたします。答申の中にありますとおり、2020年度使用の高志中等教育学校前期課程用教科用図書については、5月の教育委員会の諮問を受けて、ア①、②、③の観点に基づき慎重に審議した結果、別冊の161ページから183ページまで教科ごとに記載してある教科用図書が答申されました。

次に、高志中等教育学校前期課程用教科用図書(道徳以外)ですが、2点、補足説明いたします。これは小中学校同様、特別の教科道徳

以外の教科書採択については、学校教育法附則第9条の規定により、中学校用教科書目録に登録されている教科書の内から採択することとなっております。

2点目は、2020年度に新たな教科用図書採択がありますので、今回採択される教科用図書は、2020年度の教育課程から1年間の使用となります。

答申までの経緯につきましては、議案第12号の2020年度使用新潟市立中学校用教科用図書の採択についてと同様です。よろしくお願ひします。

○教育長

それでは、ここまでについて、何かご意見、ご質問はございますか。

○渡邊節子委員

確認というか質問になりますが、市立中学校では、来年度もすべて今年度と同じ教科書を使うということですが、高志中等教育学校でも同じように考えてもよいということでしょうか。

○学校支援課長

高志中等教育学校につきましては、生徒の実態に応じて学校独自に教科用図書を選定することとなっております。今年度は、理科のみ変更する予定です。

○山倉委員

質問です。今、理科のみとおっしゃいましたが、理科だけというのはどうしてでしょうか。

○学校支援課長

理科は、これまで、東書のものを使用してきましたが、高志中等教育学校が大事にしている協働学習を進めるうえでより適切なもの、生徒の実態によって学図を使いたいということで、学図を選定しました。

○山倉委員

分かりました。ありがとうございます。

○教育長

それでは、高志中等教育学校前期課程教科用図書については、学校の目標や生徒の実態も踏まえて、学校独自で選定することになっておりますので、記載されている教科用図書を2020年度使用の教科用図書として採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、2020年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書については、記載されている教科用図書を採択します。

それでは、議案第13号については承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、そのように決定します。

次に、議案第14号、2020年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用教科用図書の採択について、審議します。学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

では、議案第14号、2020年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用教科用図書の採択について、説明いたします。別冊の1ページ、審議委員会の答申をご覧ください。2020年度使用の特別支援学校・特別支援学級用教科用図書(一般図書)については、5月の教育委員会の諮問を受けて、調査員の調査研究を基にした教科用図書審議

委員会で審議し、答申されています。慎重に審議した結果、別冊の 188 ページから 208 ページまでに記載されている一般図書が答申されました。

特別支援学校・学級においては、その障がいにより教科書目録に登載の教科書が適さない場合には、学校教育法附則第9条の規定により、教科書目録によらない図書を教科用図書として使用することができます。このことを通称、一般図書と呼んでいます。

別冊の 185, 186 ページの特別支援教育教科用図書調査部会の報告をご覧ください。一般図書の採択については、文部科学省の通知では、十分調査研究を行い、児童生徒の障がいの種類・程度、能力に応じた適切な図書を採択することとしています。調査部会では、185 ページに示されている①から④の観点により、文部科学省の一般図書一覧にある 347 冊の図書について調査研究を行い、248 冊を選びました。そして、さまざまな児童生徒の実態に対応できるように、1冊1冊について、段階をA, B, Cの3段階に分け、図書としての特徴、教科用図書としてのよさや活用方法などを参考情報として記述しました。A, B, Cの3段階の内容については、別冊の 186 ページの下のほうに記載してあります。

なお、一般図書の調査研究に当たっては、本年度も小・中学校特別支援学級の保護者、特別支援学校小・中学部の保護者の皆さんから調査員を引き受けていただきました。保護者としての考え、要望を、協議や検討の場に出していただき、調査研究が大変深まったと聞いています。

以上でございます。ご審議をよろしく願いいたします。

○教育長

新潟市立特別支援学校・学級用の一般図書について、推薦された図書が提示されております。A, B, Cの3段階については、今、説明があったとおり、障がいの程度によって応じられるようにということで、このようになっているということです。

ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

○山倉委員

見せていただいたの意見です。まず、「おてっだいの絵本」、小学校の生活です。例えば、お手伝いということで、雑巾の使い方だたむ、しぼる、拭く、洗うということを丁寧に一つ表してありますので、こどもと一緒に読みながら、これはできるかなとか、これはやってみようというようにして、問いかけながら読むことができ、とてもいいなと思いました。

これは小学校の国語の「しりとりをしましょう！」という絵本です。イラストがとてもかわいらしくて、おいしそうイラストで、一緒にしりとりをしながら食べ物名前を覚えることができる、学習できるということで、とてもかわいらしくていいと思いました。

これはとても大きい本なのですが、シマウマの顔とか、実際の大きさが出てくるのです。新潟には動物園がないので、実際のシマウマとかコア

ラを見ることがあまりない子どもたちに、本当にこんなに大きいのだよという、とてもインパクトもありますし、動物に関する関心も広がるのではないかと思います。

その他にも「こえでおぼえる123かずのほん」、「うたってかいてけせるえほん」、「ピアノえほん」など、音が出る絵本があります。耳で聞いて、目で見、手で触る、いろいろな感覚を使って学べるのがとてもいいと思います。

どの本もとても色がきれいで見やすい、分かりやすい、子どもたちが関心を持てるように工夫されている本だと思いました。

○渡邊節子委員 たくさん見せていただいた中で、何十年も、私が子どものころからあるのではないかと思うような、多くの人に親しまれてきた本や絵本もありましたし、また、新しいものもあり、内容的にも、生活の技能を身につけるとい生活に密着したものから、あとは、言葉を少しずつ学んでいくために役立つであろう本まであり、大変バラエティーに富んでいて、それぞれの子どもの実態に合うように選ばれていると感じました。

そういった中で、選定するときに保護者の方が入っているということがやはり大事で、これからも続くいいと思いました。

○教育長 ほかにございますか。

それでは、毎日児童生徒に接している現場の教員や保護者の方々の意見も反映されているということですので、2020年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書として、この188ページから208ページに記載されているものを採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、ここに記載されている一般図書を採択することとします。

では、議案第14号については承認するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

以上で、2020年度使用新潟市立小学校用教科用図書、中学校用教科用図書の道徳以外、高志中等教育学校前期課程用教科用図書の道徳以外、特別支援学校・学級用一般図書のすべての採択を終了します。

ここで、しばらく休憩します。15時40分に再開します。

(休憩)

第3 報告

○教育長 では、定例会を再開します。日程第3、報告に入ります。

はじめに、通学区域の見直しについて、教育総務課から説明をお願いします。

○教育総務課長 教育総務課から、通学区域の見直しについてご説明させていただきます。資料は報告1ページです。

まず、この見直しについてですけれども、通学区域変更を希望する地

域と書いてありますけれども、緑ヶ丘自治会の一部で、現在、同一の自治会の中で坂井東小学校区と新通小学校区の二つの小学校区が存在しています。これを新通小学校区に一本化していただきたいという、通学区域変更に関する要望書が提出されたことによるものです。

その要望書提出までの経緯についてですが、平成30年に緑ヶ丘自治会会長が相談に来られまして、その後、自治会内での協議を経て、令和元年6月28日に正式に要望書の提出となったものです。

現在の緑ヶ丘自治会の通学区域の状況については、報告の2ページをご覧ください。こちらに地図が記載してあります。図面の赤い線で囲った赤い網掛けになっている部分と、その東隣といいますか、水色に塗られている部分を合わせて緑ヶ丘自治会となります。この内の赤い部分が新通小学校区で、水色のところが坂井東小学校区になっておりました。

また報告1ページに戻っていただきまして、今回、通学区域を変更していただきたいということなのですが、その変更を行う理由としては、三つ目の丸ですけれども、一つの自治会が二つの学校区に分断されている状況では、円滑な自治会活動を行っていくうえでの支障が生じるということ。また、地域コミュニティの一体化、そして児童生徒の学校活動の継続性、児童及び高齢者の見守り自主防災等の活動にも影響があること。そして、令和2年4月に新通つばさ小学校が新通小学校から分離新設されまして、新通小学校の適正規模化が図られるといったことなどから、当該地区を新通小学校区へ通学区域の変更を希望するというものでした。

緑ヶ丘自治会と同じく、坂井輪中学校区の中で同様に複数校区となっている自治会が、実は、二つあります。寺尾新町第二自治会と坂井自治会です。こちらについても、この件についてはすでに承知しているということから、今後、来月の8月の教育委員会定例会において協議会案件として協議いただきまして、9月の教育委員会定例会において付議案件として提案してご承認をいただきたいと考えております。

前回、同様の形で東区の中児第三自治会の通学区域の見直しの件がありました。そちらについては、今月の定例会で協議を予定していたのですが、今回の緑ヶ丘自治会の件と合わせて、次回の8月教育委員会定例会議で協議案件として提出させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

また、前回の中児第三自治会の案件の際に、同じように一つの自治会が複数の学区に通学区域がまたがっているものはないかというお話がありましたけれども、実は、通学区域の線はほぼ変更されることはないのですが、自治会の境界が比較的変更が多くて、一定時点のそういった複数の通学区域にまたがっている自治会が一体いくつあるのかについては把握できていない状況です。ただ、各区にある教育支援センターを通じて、区域がまたがっているということでもしっかりと把握しているもの、ある

いは地元から何らかの要望なりが少しずつ出始めているとかそういったことで把握しているものが 14 自治会あります。こちらについては、あくまで地元のご意向を聞きながら、今後どうしていくかは進めていきたいと思っています。また同じような案件が出てまいりましたら、地元と協議しながら丁寧に進めてまいりたいと考えております。

○教育長

ただいまの報告にご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

特にございませんか。それでは、この件については以上とします。

次に、湯東地域実行計画に係るかたひがし生活体験館については市議会への報告案件であります。公表前であることから非公開としたいと思えます。ご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

よろしければ公開案件の終了後、非公開案件として再開し審議します。

第4 次回日程

○教育長

続きまして、日程第4、次回日程について、教育総務課からお願いします。

○教育総務課長

次回の日程についてですけれども、8月につきましては8月30日金曜日午後3時30分から、9月につきましては9月12日木曜日午後3時30分から、定例会を予定しております。よろしくをお願いします。

第5 定例会一時閉会

○教育長

それでは、定例会を一旦閉会し、日程第6、協議会に移ります。

第6 協議会

○教育長

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価(案)について、教育総務課から説明をお願いします。

○教育総務課長

資料ですけれども、協議会資料の協議会1ページをご覧ください。教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告書(平成30年度対象)という表題がついています。こちらをご覧ください。こちらについては、平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会は事務の執行状況に関する点検評価を実施し、報告書を議会に提出することが義務づけられました。今年度で12回目の報告となります。昨年度と同様に、この報告書を9月市議会定例会に提出したいと考えておりますので、本日の協議会で内容等についてご協議をお願いいたします。その後、本日の協議内容を踏まえまして、8月教育委員会定例会で付議事件としてご審議いただく予定としております。

次のページの目次をご覧ください。全体の構成について説明します。基本的には、例年と同様の構成としています。はじめに、本報告書の位置づけや概要を記載しており、I教育委員会の活動状況では、教育委員会会議の開催状況や平成30年度の主な取組と成果について記載し

ております。Ⅱ新潟市教育ビジョンの施策評価については、個別分野の施策評価として、ビジョンの平成 30 年度の実施状況や進捗状況などについて、点検評価を実施した内容となっております。

次に、報告書の内容についてご説明します。資料の協議会3ページですが、I教育委員会の活動状況についてです。はじめに、教育委員会会議の定例会及び臨時会について、会議ごとに主な議題や報告案件などを記載しております。次のページの中ほどでは、会議の公開状況などについて記載しております。

続いて、資料の協議会5ページですが、こちらは教育委員会会議以外の活動状況ということで、教育ミーティングや総合教育会議などの開催状況、次のページにかけてですが、教育委員の視察の状況や、本市が加盟している指定都市教育委員・教育長協議会などへの参加状況、そして学校周年事業などへの出席状況などを記載したものです。

次に、資料の協議会7ページからは平成 30 年度の主な取組と成果として、13 の報告を上げさせていただきました。1点目は、基礎・基本を身に付ける教育の推進についてです。アフタースクール学習支援事業などの取組内容とともに、その成果について記載しております。

2点目ですが、第2次子ども読書活動推進計画と学校図書館支援センター事業についてです。計画に基づいた子どもの読書環境の整備やブックスタート事業などについて記載してあります。

次に、3点目は協議会8ページ、一人一人の成長を促す生徒指導の推進についてです。児童生徒が互いに認め合い、支え合い、高め合う教育活動の実践の啓発や、いじめ、不登校の対応について記載してあります。

次に、4点目、体力づくりの推進についてです。運動好きの子どもを増やすことや、体力向上のための取組みなどについて記載しております。

次に、5点目、若者支援事業の取組についてです。若者の自立に向けた取組みなどについて、記載してあります。

次に、6点目、一貫教育の推進についてです。新潟市一貫教育推進協議会における協議状況について、記載してあります。

続いて、7点目、子育て支援についてです。家庭の教育力の向上を図ることを目的とした家庭教育学級について記載しております。

続いて、8点目、主体的な学習を支えるシステムづくりについてです。学習生活をつくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習の推進について記載してあります。

続いて、9点目、地域と共に歩む学校づくりの推進についてです。地域と学校パートナーシップ事業や子どもふれあいスクール事業などについて記載してあります。

10点目、教育ネットワークの構築についてです。教育ネットワークの構築や校務支援システムの導入による効果などについて、こちらに記載し

ております。

次に、協議会 10 ページ、11 点目として、教育関係職員の研修プログラムの充実について記載しています。教職員の資質能力のより一層の向上を図るための研修について、こちらに記載しております。

そして、12 点目ですが、多忙化解消対策の推進と教職員のヘルスケアについてです。第2次多忙化解消行動計画による多忙化解消の取り組みやヘルスケアについての記載となっています。

最後に、13 点目として、教育ミーティングの実施についてです。区教育ミーティング、中学校区教育ミーティングの実施状況について、こちらに記載しております。

次に、協議会 11 ページからは、新潟市教育ビジョンの施策評価について記載しております。このページの右上の凡例にも示されておりますけれども、評価は1から5までの5段階で示されております。各施策の指標目標どおりの成果が得られた場合には4という評価になります。4を基準にしまして、各施策の評価状況をご覧いただきたいと思っております。

全体の達成度を見ますと、全施策の平均は4.02となりました。また、第3期実施計画において重点的に取り組む、または新たな視点で取り組むNEXT&NEWの20施策については、その平均で見ますと4.14となりました。いずれも評価の4を上回っております。概ね目標は達成したと考えておりますけれども、このことから、各施策が着実に実施されたと判断しております。

次の協議会 12 ページからは、主な取り組み事業の評価状況について、20 施策について具体的な内容を記載しております。この中から、主な内容だけ申し上げます。まず、12 ページの上段の施策1-(1)社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進についてです。こちらの施策評価は4.3となりました。すべての学校がアクティブ／ラーニングに組み込み、着実に主体的・対話的で深い学びが実践されています。その成果は下段の施策1-(3)基礎・基本を身に付ける教育の推進にも現れております。施策評価は4.3となりまして、各施策においても評価が4以上ということで、達成しております。自分の考えを发表或し、話し合い活動が行われたり、継続した事業改善の取り組みにより、全国学力・学習状況調査での成果につながったものと考えています。

次に、協議会 13 ページの下段をご覧ください。施策2-(2)一人一人の成長を促す生徒指導の推進についてです。指標2と3のいじめ解消率にかかわる施策は評価が4となり、数値もよくなりました。指標4と5の不登校発生率に係る指標については、まだ文部科学省が不登校発生率を公表していないことから空欄となっておりますけれども、こちらの不登校の増加は全国的な傾向であり、新潟市教育相談センターの教育相談も大半が不登校の相談となっているところです。学校だけではなく、児童相談所は医療機関等の横の連携が大切だと思われま

は児童生徒理解・教育支援シートを活用しまして、不登校児童生徒に対する組織的支援に力を入れてまいりました。今年度も継続して行ってまいります。

続きまして、協議会 15 ページの上段をご覧ください。施策4-(1)子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進についてです。こちらの施策評価は 4.0 となりました。特別支援教育に関する公的研修の定着が図られています。4-(3)早期からの就学相談・支援の充実については、子どもを支援するための情報の引き継ぎである入学支援ファイルの活用について、説明による周知が行われまして、活用が進んできたことが分かります。こちらの施策評価は 5.0 となっております。

次に、5-(1)新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組については、施策評価は 4.3 となっております。こちらは、業務が順調に進捗したと考えておりますが、小中一貫教育に関する基本的な考え方やQ&Aを作成しまして、パイロット中学校区の取組の見直しにつなげるとともに、全中学校区が取組む際の参考となるようにしました。

次に、協議会 16 ページをご覧ください。5-(2)幼児教育の充実と幼保小連携の推進ですが、こちらの施策評価は 4.3 となりました。新潟市版アプローチカリキュラムを完成させまして、公開保育を通じて支援化の具体を示したところです。今年度は、公立・私立の幼児教育・保育施設を対象にして研修会を実施しまして、さらに、小学校1年生を対象とするスタートカリキュラムを完成させる予定です。

次に、その下の施策8-(2)学び育つ各世代への支援についてです。指標1のいがた市民大学の受講率については、進捗状況が4と、ほぼ達成となっております。昨年度から市民大学は主に受講料により講座の運営を行っているところです。大学コンソーシアムと連携して、長岡技術科学大学や長岡工業高等専門学校のを借りまして、科学の講座なども実施しました。さらに、平成 29 年度の講座を受けた方が関係機関の協力を得ながら、現在、プログラミング教育の自主学習グループを立ち上げるなど、新たな好ましい学びの循環が現れてきていると言えます。

次に、その下の9-(1)地域と共に歩む学校づくりの推進です。こちらの施策評価は4.3でした。指標2のふれあいスクールの開催日数の減少については、このたびの西区の事件に伴い一斉下校したり、活動を一時中止したりしたところが多いといったことが原因で、若干減少したということです。併せて、一部のふれあいスクールでボランティア不足により実施できなかったことも理由として上げられると思います。この中の指標3の土曜プログラムが高い評価となりましたが、今後も、より学校と地域がかかわりあい、内容の充実を図ってまいりたいと思います。

次に、協議会 18 ページをご覧ください。施策 11-(1)効果的な指導を支援する施設設備の充実についてです。こちらの評価は 4.0 となりま

した。タブレット型コンピュータの整備，そして教育ネットワークの構築に関する事業です。それぞれ計画どおりに行うことができました。教育コンピュータについては，予算の減額を踏まえまして，リースの延長などしながら対応してまいります。

その下の施策 12- (1) 教育関係職員の研修プログラムの充実については評価が 4.0 となりました。指標1の受講者の満足度と活用度は年々上昇しています。若手研修などでマンツーマンの研修をやってきた成果と認識しております。今年度は研修の日数を削減するなど，研修内容を改善してまいりますけれども，現在必要なプログラミング教育や，外国語や，いじめ不登校，ICT，学級経営等の研修により，より一層の充実を目指してまいりたいと思います。

次に，協議会 19 ページをご覧ください。ここからは，教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望，そしてそれに対する教育委員会の対応についてまとめたものです。毎回，教育ビジョン推進委員ではさまざまな視点からご意見をいただいているところですが，各施策の充実の参考にさせていただいているところです。また，第4期教育ビジョン実施計画についても協議していただきまして，参考になる意見もございました。今後もこうした外部委員からの知見を生かしながら，教育ビジョンの充実に向けて着実な取組みを進めてまいりたいと思っております。

○教育長

今の説明にご意見，ご質問等ございましたら挙手をお願いします。

○山倉委員

協議会 14 ページの3創造性に富み，世界と共に生きる力の育成で，外国語の活動が好きだという小学6年生の評価が3だったということで，始まったばかりなのに，少しまだ苦手意識があるのかなというところが残念だと思います。もう少し好きになってもらう，まず，好きにならないとなかなか勉強しないので，もっと好きになってもらいたいというのが残念な評価だと感じました。

○田中委員

今の意見に関連してですが，指標目標が平成 29 年度は 82，平成 30 年度は 80 と，平成 28 年度から 29 年度は上がっているのだけれども，その後指標が下がるのです。進捗状況がどんどん下がっている原因はどこにあるのでしょうか。指標目標が毎年下がるというのも少し考えてしまうのですが，それよりも進捗状況が 81.1 から 78.2，74.0 と3年間下がり続けるのはなぜでしょうか。

○学校支援課長

つい先ほど，学校支援課の英語担当の指導主事が集まって，今，学校の中であまり目的意識を持たないで外国語をやらせていたり，あとは活動があまり面白くないということが見受けられたので，少しこういう問題点が見られますみたいなビデオと，こうしたことになりますというビデオを，ちょうど今，センターの指導主事が集まって作っていて，これから配信するのです。外国語教育が小学校で始まったので，一生懸命研修をしたり教材を配布しているのですが，中身がまだもう少し，みんな頑張っているのだけれども，少し楽しくないのかなと。内容等をさらにいいもの

にしていかなければいけないと思っているところです。

これから全国の学校の調査の結果をお知らせするのですが、新潟市は英語の課題が大きくあるので、小学校の段階から、これからセンターと協力しながら、楽しいと思う子どもを増やしていきたいと思っています。

○田中委員

それと併せて、平成30年度の指標が74.0になったから平成31年度の目標は75にしましたというのは分からないわけではないのだけれども、平成29年度、30年度、31年度の指標を見ると、82、80、75と右肩下がりというのは、何か少し悲しいですね。平成31年度はせめて平成30年度と同じ80くらいにしていきたいと思うのですが、どうでしょうか。

○教育長

はっきりした返答はできませんでしょうか。

○田中委員

考えてください。

協議会11のところで、先ほど、教育総務課長の説明もありましたように平成30年度の評価一覧ということで、全体が4.02という点では、私は大変素晴らしいと思っています。右側に項目ごとに出ているのを見ますと、5.0という項目も六つありますし、全体が4.02、そしてNEXT&NEWの平均が4.14と、昨年より若干下がってはいるのだけれども、それでも大変よく頑張ってきた数値ではないかと思っています。

もう少し中身について質問させていただきたいのですが、協議会12ページですけれども、実は、私は去年も同じことを言っているのですが、1-(3)「基礎・基本を身に付ける教育の推進」の主な事業に「アフタースクール学習支援事業」という項目があります。これについては、(1)の右側の白丸の二つ目でしょうか、5月にアフタースクール学習支援員連絡会をうんぬんとあります。去年、アフタースクールが書いてあるところにこれが載っていないのはおかしいのではないですかという話をさせていただいたところ、1-(1)の主要事業のところに「アフタースクール学習支援事業」が記載されました。ところが今年、また1-(3)に記載されています。実は、アフタースクール学習支援事業は1-(1)にも1-(3)にも両方でてくるのです。ですから、両方にあってもいいかなと。少なくとも、右側に書かれているところに載っていないのはおかしいだろうと私は思うので、上に持っていくか両方に書いた方がいいのではないかと思います。

それから、もう一つありました。すみません、戻ります。協議会11ページですが、8-(1)「主体的な学習を支えるシステムづくり」の評価が2.0です。大変よく頑張っている中で、ここだけが大変目立ってしまっているのです。去年は4.0で一昨年も4.0なのです。今回、2.0まで下がった原因は何なのか、教えていただきたいと思います。

○教育総務課長

まず、最初のアフタースクールのところですが、確かに昨年ご指摘をいただきました。記載の仕方の問題ですので、これは改善したいと思えますか、下の1-(3)にも触れるような形で見直していきたいと思いま

す。

次に、協議会 11 ページですけれども、8-(1)は生涯学習センターから。

○生涯学習センター長

8-(1)ですが、生涯を通じて学び育つ学習機会の充実の指標が生涯学習相談件数ということで、ほかのところは指標が何個かあるのですけれども、(1)は生涯学習相談件数一つの指標だけになります。これが2になっているのですが、分析は難しいのですけれども、最近、スマートフォンとかホームページでもいろいろ調べられる状況になってきたということで、生涯学習の相談件数が下がったということで、なかなか分析しきれずにいるのですけれども、そういう環境もあって、電話相談が少なくなったのかなということが数字に現れてきているのではなからうかというところでは。

○田中委員

少し下がったのですね。少し下がったのなら、目標をもう少しで達成の3でもいいかなと私は思ったのですけれども、2というのは。

○生涯学習センター長

そうなのですけれども、自動計算されまして、達成率が75パーセント未満になると2になってしまうということで、ボランティアの方にも生涯学習センターに1週間に3回来ていただいて、ボランティアの方から実際に窓口を開設していただいたり、非常に頑張っていたのですけれども、件数が伸びなかったところでは。

○田中委員

その辺の実態が数値と合わないような気がします。

○教育総務課長

第4期の実施計画を作るに際しては、指標の設定のところから考えながらやりたいと思います。

○田中委員

頑張っている成果が読み取れるような指標であってほしいと思います。

○教育総務課長

そういう指標にしたいと思います。

○渡邊純子委員

協議会 17 ページの10-(4)学びを支援する体制の整備と充実の全体の評価は4になっていまして、後ろの協議会 21 ページですけれども、全児童に就学援助についての周知をしているということで100パーセントということは分かります。そして、それを利用するかしないかということなのですけれども、全体の22パーセントの方々が利用していて、全員対応しているから100パーセント。また、社会人の奨学金は募集定員6名に対して一人の申請だったので100パーセント。この根拠は何ですかということで、下に説明が書いてあるのですけれども、確かに子これを読むとそのとおり理解できるのですけれども、できるだけ奨学制度を充実させたいということであれば、もう少し何というか、今、子どもの貧困とかいろいろ叫ばれているので、もう少し何か。私も詳しく案内を見ていないので何とも言えないのですけれども、条件が厳しかったり、申請しにくい何かがあるのかとか、そういうものはどうなのかと少し思っています。特に、社会人に関しては本当に教育にお金がかかるので、そういうところを何か充実できると本当にいいと思っているのですが、募集定員に満たないのはどうしてなのか、疑問に思っています。その辺のところを教えてください。

ければと思います。

○学務課長

まず、指標の作り方なのですけれども、これはずっと 100 パーセントという形になっていまして、成果指標というよりも、やることに意義があるという感じの活動指標になってきています。そうすると、いろいろ努力しても、それが成果としてどう反映されたかがなかなか見にくい状況になっているのが、まず一つの反省点になります。それから、指標については第4次のためにいろいろ検討しているのですけれども、やはり、市民の満足度が反映されるような指標を採用していくべきだと思っています。特に、社会人の奨学金に関しては、今回というか、定員6名のところ1名しか応募がなかったのですが、それでも応募に対してしっかり予算立てて奨学金を貸すことができたということで、これはそれで 100 パーセントと。定員をどんどん増やしてどんどん貸し付けるものでもないのだろうなど。逆に、皆さん裕福になってそんなものを借りる必要がなくなるくらい状況が一番いいのだと思いますけれども、しかし、ニーズに対してしっかり対応できているかどうかという指標になっているところです。逆に、定員が6人いてゼロだったらどうするのかという質問も受けたのです。そうすると、まるっきりなかったということなのですけれども、それに対する評価を想定していないということがあります。ですから、こういう指標の作り方は難しいということで、この辺をいろいろ検討しながら、実際にニーズに対する貸し付けができたかどうかということではなく、貸し付けたものがどういう満足になっているのかを見ていかなければいけないのではないかと考えているところです。答えになっていませんけれども、そのような状況です。

○渡邊純子委員

しかし、とてもいいと思っているので、続けてほしいと思います。

○上田委員

少し気になったので、質問させてください。協議会 10 ページに教職員のヘルスケアについて書かれていますが、メンタルヘルス以外に関しては全国平均よりも悪い状況だということで、いろいろ取組んでいるとは思いますが、その取組みによって改善に向かっているのか、それともまだ大きい課題があるのか、その辺のことを聞かせていただければと思います。

○教育職員課長

教育職員課です。

ここに書いてあるのは、職場での定期健康診断やがん検診などの結果から、1か月以上休むような病気の教員が、メンタルは全国平均と同じかやや下回っているのですが、メンタル以外で一月以上休む方が全国の教員の方の平均よりも高くなっているという意味です。これは、実は、1か月以上休んでいるというデータはあるのですけれども、では、何によって休んでいるかという全国のデータがなくて、今、どこに原因があるのかを必死に探っている状況です。

やはり、一番多いのがんです。特に、1か月以上休んでいる方はがんの中でも乳がんなどの女性系のがんが一番多いという傾向がありま

す。その次は関節系の病気等で休む方ということなので、その傾向が全国と比べて果たしてどういふところかを分析しながら、そこでギャップが見つかったところを重点的にやろうということで、まさに今、研究をしているような状況です。できるだけ頑張っただ対応していきたいと考えています。

○渡邊節子委員 今のことに関連して、そうすると、当然、新潟市の教職員のがんや関節の病気の割合ということもありますが、新潟市民との比較の検討も必要ではないかと思ひます。

○教育職員課長 まさに今、いろいろな統計を探っています。新潟県職員の例も聞いたりしながら、⑥ン責を進めていきたいと考えています。

○渡邊純子委員 協議会 19 ページですけれども、質問にあるところで、施策1-(3)の英検に関することなのですけれども、生徒たちの受検率が低いということもあるのでしょうか、そこに教員についても英検を受けることに対して補助をしていると書いてあるのですが、具体的にはどのようなことをしているのか教えていただきたいと思ひます。

○学校支援課長 中学校長会を通して、英検を受けませんかと強く呼びかけているということです。ただ、やはり、受けるからには勉強する時間も必要なわけですし、なかなか受検する方が増えないということです。ただ、早めに広報して、年間に何回も受けられるチャンスがあるので、受けるチャンスを増やそうという努力をしているのですが、とにかく今は先生方に呼びかけているところです。

それと、補助率を少し確認してみますけれども、すみません、分かりません。

○渡邊純子委員 受検料などもかかりますよね。そういうものを補助しているということですか。

○学校支援課長 そうです。受検料を補助しています。

○渡邊純子委員 あとは呼びかけということですが、それに対する目標値はあるのですか。例えば、学校で何人くらいとか、1校に対してどのくらいの先生が英検を保持しているかみたいな目標はあるのですか。

○学校支援課長 具体的な数値は設定していませんけれども、とにかく受けやすいように広く広報して、たくさん受けていただくと考えているのですけれども、具体的に何人とか何パーセントまでは言っていないです。

○渡邊節子委員 協議会 22 ページの最後ですが、支持的風土の醸成についての説明が求められていて、それについて回答があるのですけれども、これは施策 13-(2) 効果的・効率的な執行体制の整備に入るのでしょうか。少し違和感があります。まずは、子どもたちの関係についての支持的風土の醸成、もちろんそれは教員同士ということでもあるのですけれども、せっかく新しく出てきた支持的風土の醸成ということがあるので、それをどう位置づけるのかが明確になっているといいと思ひます。

○教育総務課長 施策13-(2)が、実は、総合教育会議を開催して、新たな行政法に基づく教育委員会と市長部局のあり方の中での新たな教育委員会の運営

執行体制についての、これは施策の項目だったものですから、総合教育会議でこういう質問がここで出たのでここに記載してあるのですけれども、もちろん、支持的風土の醸成はほかの項目に入ってくるので、その考え方は、これからの第4期の実施計画の中では、ここは整理したうえで、主に、第4期ですと視点の中でも一番大きな考え方になると思いますので、そういった整理はしていきたいと思っています。これはたまたまこういうところで出た質問ということです。

○小野沢委員

中学生が本を読まない、大人も本を読まないということは、今、話題にもなっているところですが、協議会 20 ページで、中学生の不読率が2となっているが、1年間をとおして全く本を読まない中学生がこれだけの割合いるということかという質問に対しての答えがいろいろあるのですけれども、私たちは先ほど教科書を選定していて、本当に教科書の中にたくさんいろいろなお話があって、中学生がそれを読んでいるところで、なかなかきちんと読書していることにはならないのかなという思いがあるのと、よく、朝読書ということで、とにかく1冊決めて、朝に読書を推進しましょうということが取り上げられていると思うのですが、そういうことは新潟市内の学校ではあまりなされていないのでしょうか。

○教育総務課長

その辺は、まず、調査の数字の取り方というか項目の問題も、多分、あると思います。それと、あとは。

○教育長

朝読書をやっているかどうかは生涯学習センターで分かるのですか。図書館ですか。

○事務局

具体的な数字がないのですけれども、朝読書の効用というか、読書にもつながるし、朝から読書することで落ち着いた雰囲気を出すということで、非常に効果があることは分かっているのですが、学力向上で計算とか漢字練習もしっかりやっている学校もあって、その中で少し朝読書が減ってきているのではないかという感じはあります。具体的な数字は分からないのですけれども。

○小野沢委員

中学生はなかなか忙しいとは思いますが、その中で、少し触れる機会があればいいなというのと、それから、教科書で十分読んでいるのではないかという思いもあります。

○教育総務課長

この項目の設定の仕方は、たしか、このビジョンの会議の中でも取り上げられたことなので、そこはまた検討するというところで回答させていただきました。

○教育長

ほかにございますか。

ないようでしたら、以上でよろしいでしょうか。

それでは、これで協議会を閉会します。

第7 協議会閉会・公開終了

○教育長

これより定例会の非公開案件を審議いたします。傍聴人・報道はご退席ください。

第8 定例会(非公開)報告

○教育長

これより定例会を再開し、報告案件に入ります。

潟東地域実行計画に係る かたひがし生活体験館について、中央公民館から説明をお願いします。

「潟東地域実行計画に係る かたひがし生活体験館」について報告

○教育長

質問・意見のある方は挙手をお願いします。

(質問・意見)

第9 定例会閉会

○教育長

以上で、定例会を閉会いたします。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

田 中 賢 一

署名委員

渡 邊 節 子